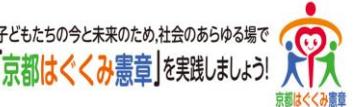


桂川だより

令和6年度
第1回学校評価特別号
京都市立桂川小学校
校長 佐久間 寧子



第1回子ども育みアンケートの結果から

学校教育目標

自ら学び、

心豊かに仲間と未来を拓く子の育成

めざす子ども像

か 感謝する子、感謝される子
つ つよく、しなやかな心と体の子
ら らしさを認め、つながりを大切にする子
が 学習に進んで取り組む子
わ わかるように自分の言葉や方法で伝え合う子

アンケート結果集計表

質問ごとの回答の「そう思う」を○、「大体そう思う」を●、「あまりそう思わない」を△、「そう思わない」を▲で表示しています。めざす子ども像（か・つ・ら・が・わ）ごとにまとめました。数字の上段は昨年2月、下段（太字）は今回の結果です。塗りつぶしの部分について、裏面に取り上げています。

6月に実施しました第1回子ども育みアンケートの結果をお知らせいたします。

京都市の学校教育の重点、及び、本校の学校教育目標に照らし合わせた項目を設定し、「保護者」「児童」「教職員」それぞれの自己評価という形でのアンケートとしています。3者がそれぞれに自分自身の取組やかかわりを振り返り、見直しの視点を明らかにするとともに、今後の取組の改善につなげられればと考えます。

	児童				保護者				教職員						
	質問項目	○	●	△	▲	質問項目	○	●	△	▲	質問項目	○	●	△	▲
か	がっこうは たのしい。	62 65	28 23	6 7	3 5	わが子が楽しく通学できるよう、学校での出来事で楽しかったことを中心に家庭で話題にしている。	45 50	49 46	6 4	0 1	すべての子どもが、楽しく学校生活を送れるよう、桂川スタンダードをもとに環境づくりをしている。	46 24	54 72	0 3	0 0
	ともだちや せんせい ちいきのかたに じぶんから すすんで あいさつをしている。	49 49	30 35	16 12	5 4	わが子が、家庭や地域、学校で挨拶できるよう声をかけている。	71 54	28 41	1 6	0 0	教職員自ら積極的にあいさつし、子どもたちにも声かけをしている。	80 71	20 29	0 0	0 0
つ	はやねはやおきをし まいにち あさご はんをたべている。	51 53	31 35	14 9	4 3	わが子が、早寝・早起きをし、毎日朝ごはんを食べるようにしている。	57 64	38 32	5 4	0 0	子どもたちが規則正しい生活が送れるよう、声をかけたり働きかけたりしている。	52 39	48 55	0 6	0 0
	きまりややくそくを まもって たのしくせ いかつしている。	58 60	37 34	4 4	1 2	家庭での決まりや約束を決め、守らせている。	51 56	46 42	3 3	0 0	子どもが、きまりや約束を守って生活できるよう、桂川スタンダードの実践を進めている。	60 32	40 65	0 3	0 0
	じぶんのことは じぶんできめ よいこう どうができる。	43 49	45 40	9 8	2 3	わが子が、できるだけ自分で考えて正しく判断し行動できるように働きかけている。	36 39	60 59	4 2	0 0	子どもが自分で考え、正しく判断し行動できるよう支援している。	44 42	56 55	0 3	0 0
ら	ともだちを たいせつにし なかよくして いる。	75 77	23 19	2 3	1 1	わが子が友達を大切に仲良くするよう働きかけている。	65 61	35 38	0 1	0 0	互いに思いやり、支え合う学級づくりができる。	35 30	65 63	0 7	0 0
	ともだちの よいところを みつけられ る。	55 53	36 34	7 9	1 4	子供の良さを認め、ほめている。	44 45	52 52	4 3	0 0	子どものよさを積極的に見つけ、ほめている。	60 52	40 45	0 3	0 0
が	じゅぎょうは よくわかる。	59 57	36 38	4 4	1 1	わが子が学習を理解しているかを宿題やテストで把握し、支援している。	30 34	62 62	7 4	0 1	子どもたちの、「わかる・できる」を大切にした授業の工夫と実践を日々行っている。	30 33	70 60	4 7	0 0
	まいにち すすんで かていがくしゅうを している。	48 50	30 30	17 15	5 5	わが子に家庭学習する習慣がつくよう働きかけている。	35 39	53 49	12 10	0 1	日々の授業と連動した家庭学習課題を設定し、日々の点検をしている。	36 54	59 38	5 8	0 0
	あさくしょいがいの じかんにも ほん をよんでいる。	46 46	25 28	19 15	10 11	わが子が本をよく読むように読み聞かせをしたり勧めたりしている。	17 23	45 45	32 29	6 4	子どもに読書習慣が身につくよう、読書ノートを有効活用したり、子どもたちに声かけをしている。	38 44	43 44	19 11	0 0
わ	じゅぎょうちゅう ともだちと かんがえ を つたえあっている。	46 45	41 42	12 10	1 3	自分の考えをしっかり伝えられるようになるよう励ましている。	34 36	61 61	5 2	0 0	子ども主体の学び合いの場を設定している。	29 13	67 77	4 10	0 0
その他						HP やお便り・参観日などで、学校の様子や教育方針をわかっている。	20 23	73 69	6 7	0 0	HP や学級通信、懇談会などで、学校の様子や教育方針を保護者に伝えている。	43 44	57 37	0 19	0 0

アンケート結果について

・児童の「朝読書やそれ以外の時間にも進んで本を読んでいる。」の項目で、前回の結果と比べ「そう思う」「大体そう思う」と回答した割合が3ポイント向上しました。子どもたちの74%が、日頃から読書に取り組むことができていると回答しています。保護者の「わが子が本をよく読むように読み聞かせをしたり勧めたりしている。」、教職員の「子どもに読書習慣が身につくよう、読書ノートを有効活用したり、子どもたちに声をかけたりしている。」でも、前回の結果と比べ向上が見られました。保護者・教職員共に、子どもたちの読書活動を大切にしていることが分かります。



また、絵本サークル「本のたね」さんによる読み聞かせを毎週水曜日に行っていただいている。毎週楽しみにしている子どもたちが多く、子どもたちの楽しい時間となっています。学校では、毎日朝読書の時間を設定して、子どもたちの読書活動の習慣化に取り組んでいます。また、年間2回読書週間を設定(かたつむり読書週間・やきいも読書週間)、教職員による読み聞

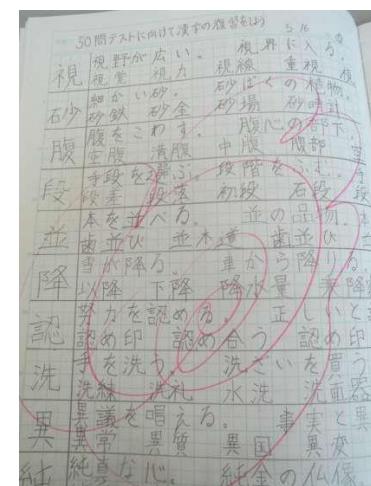
かせを行ったり、子どもたちが読んだ本やおすすめの本を書いて教室に掲示したりして、本と触れ合う機会を増やすことに全校で取り組んでいます。また、図書委員会でも、読書週間の期間に合わせて企画を考え、取り組んでいます。図書室も積極的に活用しながら、子どもたちの読書活動を充実させていきます。



・児童の「毎日進んで家庭学習をしている。」の項目で、前回の結果と比べ「そう思う」「大体そう思う」と回答した割合が2ポイント向上しました。80%の子どもたちが進んで家庭学習に取り組むことができていると回答しています。保護者の「わが子に家庭学習する習慣がつくよう働きかけている。」の項目では、88%が家庭で子どもたちに働きかけているとの結果でした。日頃、子どもたちが宿題などの家庭学習に前向きに取り組むために、家庭での関わりは大切だと感じています。ありがとうございます。

学校では、学習した内容を自分の力で取り組んだり、繰り返し取り組むことで学習内容の定着を図ったりすることをねらいとしながら、日々の宿題を設定しています。ご家庭でも、子どもたちが継続的に取り組めるよう、できたことを褒めたり、励ましたりと声をかけていただけだとありがとうございます。

また、今年度は全校で自主学習に力を入れて取り組んでいます。与えられた課題ではなく、自分で課題を設定し、自主学習ノートに書いて取り組みます。自分で学習することを決めることで、学習に積極的に取り組むことや、自分の学びを広げることにつながればと考えています。子どもたちの自主学習ノートをぜひご覧ください。



・児童の「友達や先生、地域の方に自分から進んで挨拶をしている。」の項目で、前回の結果と比べ「そう思う」「大体そう思う」と回答した割合が5ポイント向上しました。登下校時や校内で顔を合わせた時など、元気な声で挨拶をする子どもたちの姿が見られています。一方で、挨拶をされても返すことができない子も見られます。

登下校時には、地域の見守り隊の方に、信号や車通りの多い交差点で見守り活動を日々行っています。「おはよう！」「おかえり！」と優しく子どもたちに声をかけていただき、子どもたちも笑顔で挨拶できるようになってきましたが、恥ずかしくて声を出せない子もいるようです。日々お世話になっている方に気持ちよく挨拶できるようになってほしいと考えています。

教職員も、「○○さん おはよう」と名前を添えて子どもたちに挨拶することを大切し、大人が良い見本となるように心がけてきました。気持ちの良い挨拶ができる桂川小学校を目指して今後も挨拶に力を入れていきます。



学校運営協議会より

- ・見守り隊などで登下校時に通学路で子どもたちの安全を見守っているが、桂川小学校の子ども達の多くは挨拶をよくしてくれると感じている。元気な挨拶をする子どもたちが広がってくれればうれしい。
- ・下校時の子ども達の様子を見ていると、注意が必要な場面も見られる。お年寄りや体の不自由な方が通行されている横を子どもたちが走り抜ける場面があり、子どもたちも通行されている方もぶつかれば大きな怪我につながることも考えられる。学校・家庭共に子どもたちに安全に通行するよう話してほしい。
- ・子どもたちの読書活動の充実に向けて、学校で子どもたちが本に触れる機会を多くとることも大切だと考える。学校の図書館の充実も、子どもたちの読書環境を整えるうえで大切なことであるため、学校がどのような取り組みを進めているのかを保護者にも発信することは重要なことだと考える。

学校より

○子どもたちの学校の読書環境の向上について、重要だと考えています。学校図書館の本の充実に向けて新しい本の購入は毎年行っていますが、今後も子どもたちが読みたい本をリサーチしながら購入できるようにしていきたいと考えています。新型コロナの影響から、休み時間の図書館の利用ができていませんでしたが、今では図書委員が貸出し当番活動を行い利用できるようになりました。図書館の利用が広がってきました。子ども達が学校・家庭・地域の様々な場面で本に触れ、本好きの子ども達を増やしていきたいと考えています。

○地域の見守り隊や地域委員の方々に通学路に立って、登下校時の子ども達の安全を見守っていただきありがとうございます。さまざまな方と子どもたちが関わりをもつ中で、桂川小学校の子ども達が健やかに成長してほしいと考えています。今後ともご協力をよろしくお願ひします。